

令和5年度 授業改善推進プラン（2年生）

令和5年8月31日

昭島市立中神小学校

教科	観点	現状と課題	具体的な授業改善策
国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の中で、既習の漢字を間違っ書いしてしまったり、同じ読み方で意味の違う漢字を書いしてしまったりする児童が多い。 ・カタカナで書くべき言葉の認識ができなかつたり、送り仮名のある漢字を書くのが苦手だつたりする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反復練習や文作りを繰り返し、正しい漢字の書き方や使い方を身に付けさせるよう時間を設定する。 ・カタカナ・平仮名・漢字で書いて練習をしたり直しをしたりする時間をとる。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の組み立てを自分で考えながら書くことが苦手な児童が多い。 ・自分の考えを書けない、何を書けばよいか思い付かない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の組み立てを考えて書くことができるよう、短冊や付箋に書いて並べ替える学習活動を取り入れる。 ・書く前に考えを交流する、書き出しを例示するなど、指導の工夫を図る。 ・書き出しの例や教科書の文例を提示して、型を基にして書くことの経験を増やしていく。
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない問題や間違っ書いしてしまつた問題に対して、粘り強く取り組むことが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで問題を解いていくこと、出来たことを認める声掛けを続け、達成感を味わわせる。

算数	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 引き算で、引く数から引かれる数を逆に引こうとしたり、繰り下がりが無い場合でも繰り下げをしたりしてしまう児童がいる。 時計の読みが不確実な児童、時間の計算ができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆算の計算の仕方を何度も唱えさせ、上から下へ計算していくことを身に付けさせる。 3分チャレンジを活用し、計算に慣れさせる。 時刻と時間については、学校生活の中で、意識的に時計に目を向けさせ、時刻の読み方や〇分後・〇分前といった時間と時刻の関係に慣れさせる。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題や応用問題が苦手である。問題を読まない、読んだ問題をイメージできない児童が多くいる。 数の構成を文で示されると位取り表や数のまとまりとしてとらえるのが難しい児童が多くいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章題については、式を決定づけるキーワードを見付けさせ、〇で囲ませる活動を繰り返す。また、式をテープ図で視覚的に捉えさせたりするとともに、文章題の問題の配置方法についても様々な記載方法を紹介し、慣れさせていく。 ブロックや数カードなどの半具体物で表す活動を多くとり、数の大きさを視覚的に理解させる。半具体物と数字の相互関係を練習問題で多く扱う。
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く練習をしようとする児童がいる一方で、間違えることへの抵抗感から取り組むことを諦めてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にチャレンジした間違いを肯定的に認め、個別の声かけをして励ます機会を増やしていく。
生活	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 個々の経験の違いから生活技能の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて経験する、もしくは慣れていないことを前提に、丁寧にポイントを伝え、同時に模倣を通じて指導を行う。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 漠然と身近な人々や社会、自然と関わっていることが多い。 身近な人々や社会、自然への興味関心は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で子どもの中の気づきを全体で共有することで、違いや良さに気付かせ、楽しく工夫して活動させる。 子どもから出た疑問を活動内容に生かせるよう工夫する。
	主体的に学習に取り組もうとする態度		

音楽	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なリズムを正確に打つことや階名読みを覚えることができてきている。 ・鍵盤ハーモニカを演奏する際のタンギングがうまくいかず、音が伸びてしまう児童がいる。 ・体を動かして拍の流れや速度、音価についてリトミックを取り入れた常時活動を行っている。 ・音楽活動に興味・感心をもち、楽しんで活動しようとする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑なリズムを組み合わせたり、五線上の音符を読む練習をしたりしながら基礎的な技能を向上させる。 ・短い小節を繰り返し練習して、音符とタンギングとの関係を意識させながら活動を進める。 ・更に拍感を養うために、リズム打ちを継続して行う。 ・互いに音楽を楽しむ雰囲気を作り、心と体をリラックスさせる工夫を行う。
図画工作	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆遣いやクレヨン等の色の塗り方の技法の定着が乏しい。 ・子どもらしい自由な発想ができるが、アイデアをより良くしようという姿勢が弱い。 ・平面・立体ともに楽しみながら意欲的に活動している。発言が積極的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な色付けの仕方を教材を通して伝えていく。 ・ペアやグループでの話し合い学び合いを充実させ、対話的な学びを目指す。 ・導入を工夫し、児童の驚きや感動を誘い出すようにする。
体育	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体のバランスのとり方や使い方にまだまだ課題がある。 ・体力がなく、運動を持続させることができない児童が多い。 ・(ゲームで) 作戦を立てる経験が少なく、作戦の立て方が分からなかったり考えが思い付かなかったりする児童がいる。 ・動きを工夫したり、友達と話し合っ て動きを高めたりすることに課題がある。 ・運動が好きで休み時間に外に出る児童が多く、授業でも意欲的に参加する児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を工夫し、多様な動きをたくさん運動の中に取り入れるようにする。 ・毎時間、授業の始めに体力が向上する活動を取り入れる。 ・作戦を立てる計画を多く設定したり、作戦の例を多く示したりする。 ・グループでの活動やゲームを多く取り入れ、学び合いを充実させるとともに、友達の動き方や工夫の仕方の良さに気付かせる。 ・簡単な運動をたくさん取り組ませ、運動量を確保する。